

予算を「家計」に例えると…

市の予算と家計では、お金の使い道が異なるため単純に比べられませんが、予算額を10万分の1の「31万9000円」として、1か月の家計簿に置き換えてみました。

収入（かつこ内は予算科目）	金額
基本給（市税、使用料、手数料など）	7万5000円
諸手当（地方交付税など）	8万7000円
親からの仕送り（国県補助金など）	9万3000円
銀行からの借入（市債）	4万6000円
預金の取り崩し（繰入金）	1万6000円
先月の残金（繰越金）	2000円
合計	31万9000円

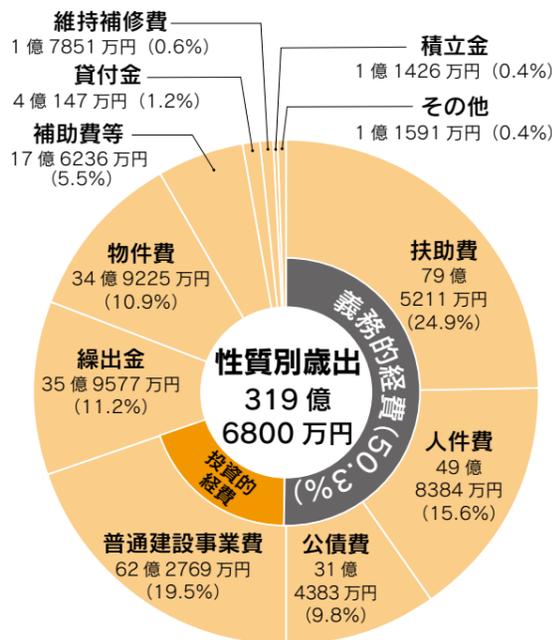
支出（かつこ内は予算科目）	金額
食費（人件費）	5万円
医療費、教育料など（扶助費）	7万9000円
水道光熱費、物品購入費用（物件費）	3万5000円
家や車などの修理、電気製品などの購入費用（維持補修費、普通建設事業費）	6万4000円
家族への仕送り、自治会費など（繰出金、補助費など）	5万3000円
借入金の返済（公債費）	3万1000円
友達に貸すお金（貸付金）	4000円
雑費（その他）	3000円
合計	31万9000円

歳出の見方

歳出を2つの分類方法でみると、市がどの事業や分野に力を入れているかが分かります。

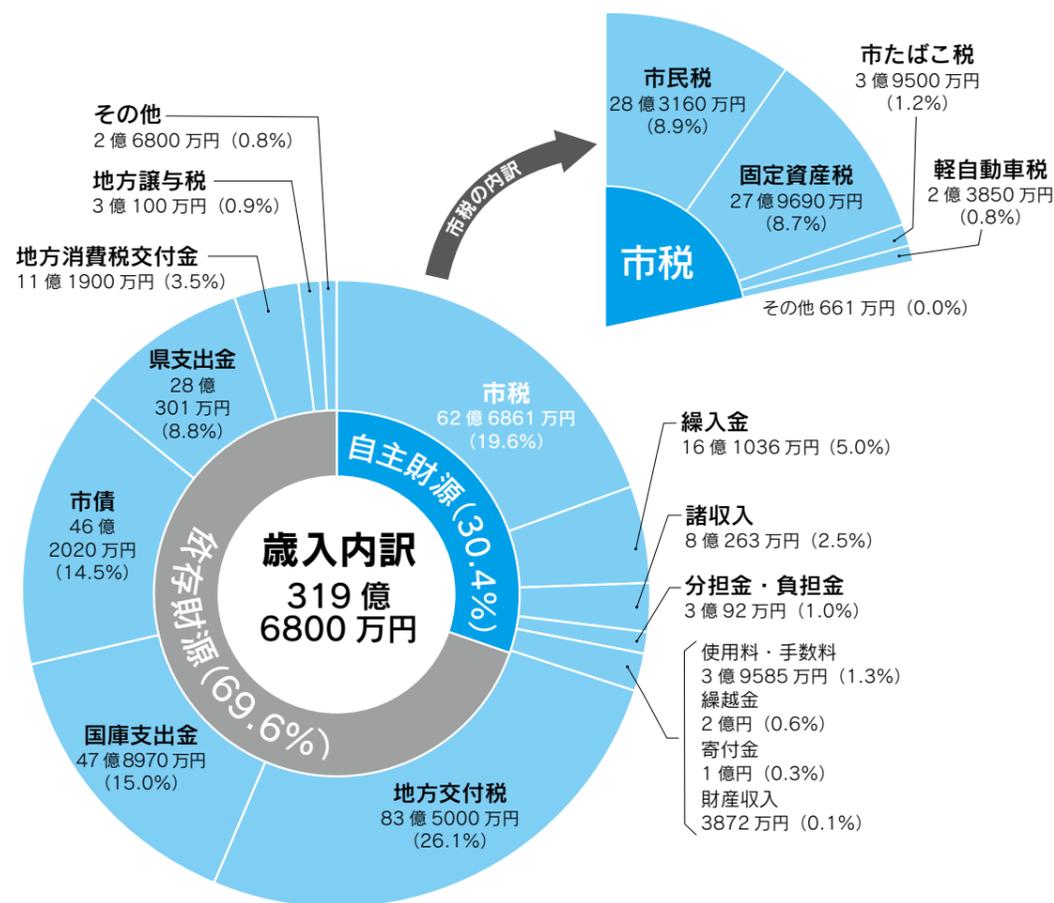
性質別歳出…支出する経費が持つ経済的な性質で分類する方法（下グラフ）です。高齢者や障がい者、子育て支援に関する扶助費が最大の経費となっています。

目的別歳出…支出する経費の行政目的ごとに分類する方法（次ページグラフ）です。予算書はこの分類で作られています。市は、高齢者や障がい者、子育て支援に関する民生費にもっともお金をかけており、次に小中学校や文化に関する教育費に力を入れています。



平成31年度一般会計予算

319億6800万円を計上



平成31年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決・成立しました。今年度は「第2次柳川市総合計画」の4つの政策目標を達成するため「子育て支援」「教育環境の整備」「豊かで安全・安心な市民生活の実現」「産業の活性化」「観光振興」の5つの柱のもと予算編成を実施。予算総額は歳入、歳出いずれも319億6800万円です。前年度当初予算に比べて26億7000万円、率にして9.1%の増加となりました。歳入、歳出予算について、前年度との比較により、特徴的なところを説明します。

【問】市財政課財政係（☎77・8432）

歳出
義務的経費は前年度より4億8532万円増の160億

増加したことから、前年度より21億1956万円増の62億2769万円を計上しています。

市債
市民文化会館整備推進事業や新火葬施設整備等事業、一般廃棄物処理施設整備事業などの進捗に伴い、前年度より16億7290万円増の46億2020万円を計上しています。このうち合併特例事業債は、30億2510万円です。

市民文化会館整備推進事業やみやま市と共同で進めている新火葬施設整備等事業、一般廃棄物処理施設整備事業などの進捗に伴い、前年度より1億1033万円増の31億4383万円を計上しています。

市税
前年度の収納見込み、税制改正などを勘案し、前年度より7890万円増の62億6811万円を計上しています。

平成27年度の「柳川駅東部土地区画整理事業」などの借入額が大きな事業の元金償還が開始されたことにより、前年度より12億54万円増の49億8384万円を計上しています。

歳入
前年度より5000万円減の83億5000万円を計上しています。

7978万円を計上しています。

歳入
議会にて審議・議決（3月）
こうして作成された当初予算案は、そのままでは何の効力も持ちません。作られた予算案は、市民から選ばれた市議会議員の審議を経て、議会の承認を得ることで初めて予算として認められます。

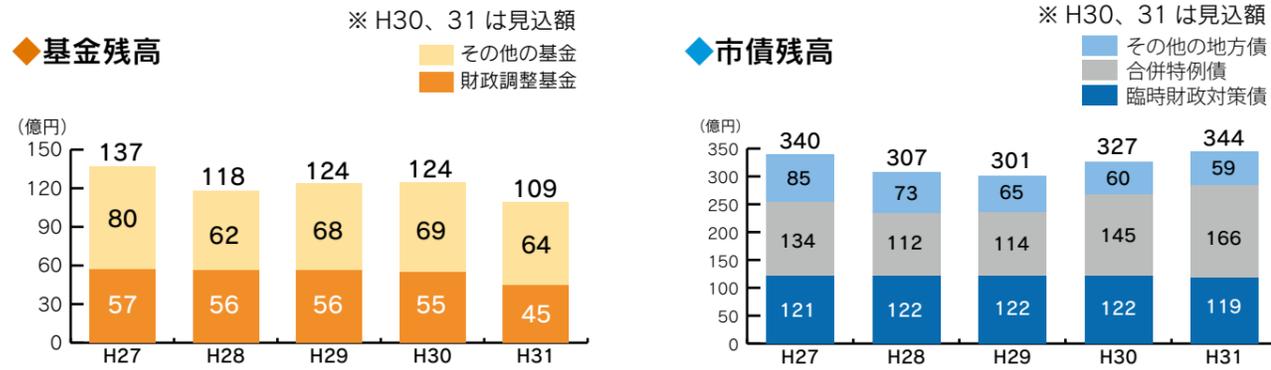
歳入
市長査定（1月中旬～下旬）
各課との調整後、財政課と副市長・総務部長が話し合う副市長査定、財政課と市長が話し合う市長査定を経て、議会へ提出するための当初予算案が完成します。

歳入
予算査定（12月上旬～1月上旬）
提出された予算要求書をもとに、財政課で査定を行います。「もう少し工夫して歳出を抑えてもらえないか」や「A事業とB事業を同じ年に行うのは財政面で厳しいため、2年に分けて行ってほしい」など各課と調整を行います。

歳入
予算要求（10月下旬～11月下旬）
市では、10月下旬～11月下旬が予算要求期間になります。各部署は、市民の声や市長が示した予算編成方針、国の動向を見ながら、市民への行政サービスを検討します。そして、その事業にどのくらい費用が必要なのか積み上げた予算要求書を作成していきます。

歳入
当初予算ができるまで
当初予算とは、1年間の収入と支出の見積もりと計画です。そのお金の使い道を掲載したものが「当初予算書」です。市の収入・支出は、4月から来年3月までの期間で算出。この1年間の収入を「歳入」、支出を「歳出」と言います。では「当初予算書」は、どのように出来上がったのでしょうか。ここでは、市の当初予算書が完成するまでを見ていきたいと思います。

基金・市債残高の推移（一般会計）



合併特例債は 16 事業に 30 億 2510 万円を活用

平成 17 年 3 月 31 日までに合併申請を行い、平成 18 年 3 月 31 日までに合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、平成 31 年度に 30 億 2510 万円を借り入れ、排水路整備事業や道路整備事業など下記の 16 事業に活用する予定です。なおこの合併特例事業債は、元利償還金の 70%が地方交付税として交付される財政的に有利な地方債です。

- ▷ 柳川庁舎外壁改修事業 = 4350 万円 ▷ 柳川庁舎別館防水改修事業 = 1790 万円 ▷ 柳川庁舎空調設備改修事業 = 9300 万円 ▷ 新火葬施設整備等事業 = 7 億 1500 万円 ▷ 排水路整備事業 = 2 億 2480 万円 ▷ 柳川観光第 2 のエンジン創出事業 = 4460 万円 ▷ 道路整備事業 = 4 億 1740 万円 ▷ 柳川駅東部土地区画整理事業 = 610 万円 ▷ 外堀線遊歩道改修事業 = 1090 万円 ▷ 三橋筑紫橋線都市計画街路事業 = 6170 万円 ▷ 沖端水天宮周辺整備事業 = 1460 万円 ▷ 消防車両購入（東部出張所）= 3420 万円 ▷ 市民文化会館整備推進費 = 12 億 5390 万円 ▷ 小中学校特別教室空調設置事業 = 940 万円 ▷ 昭代第一小学校校舎大規模改造事業 = 4880 万円 ▷ 矢ヶ部小学校校舎大規模改造事業 = 2930 万円

特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入、歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には 5 つの特別会計と水道事業会計があり、それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1 万円未満四捨五入）は次のとおりです。

特別会計	予算額	内容
国民健康保険特別会計	94 億 1091 万円	自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計。【主な歳入】国民健康保険税 17 億 2278 万円、県支出金 69 億 4747 万円【主な歳出】医療や出産育児一時金などの保険給付費 67 億 5385 万円、国民健康保険事業費納付金 24 億 2363 万円
後期高齢者医療特別会計	10 億 8500 万円	75 歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県内の全市町村が加入している県後期高齢者医療広域連合で実施。【主な歳入】保険料 7 億 4275 万円、一般会計からの繰入金 3 億 3657 万円【主な歳出】同連合に支払う納付金 10 億 5943 万円
下水道事業特別会計	9 億 9997 万円	【主な歳入】利用者からの使用料 1 億 6730 万円、一般会計からの繰入金 5 億 1000 万円、国庫支出金 7868 万円、市債 1 億 9390 万円【主な歳出】事業費や維持管理費を含む下水道費 4 億 4624 万円、公債費 5 億 1368 万円
住宅新築資金等特別会計	63.2 万円	住宅新築資金等の貸付事業は終了。現在は、貸付金の回収事務、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を実施
公共用地先行取得等特別会計	0.5 万円	公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計。活用に備えて歳入、歳出とも 5000 円だけを計上
水道事業会計 【企業会計】	収益的収入	13 億 9919 万円
	収益的支出	13 億 7163 万円
	資本的収入	3 億 368 万円
	資本的支出	6 億 2117 万円

【主な収益的収入】水道料金 12 億 4587 万円【主な収益的支出】県南水道企業団から水を買うための費用 4 億 8170 万円、人件費 9562 万円【主な資本的収入】事業を行うために借り入れる企業債 2 億 5810 万円【主な資本的支出】配水管の布設替えに要する工事費など 3 億 7415 万円、企業債の償還金 2 億 3014 万円

今年度の主な事業

ふるさとづくり

- ▶ 市民文化会館建設事業費 = 市の新たな文化交流拠点となる市民文化会館を整備
- ▶ オリピックキャンプ受入事業負担金 = オリピックキャンプの事前受け入れに伴う負担金。柳川市・みやま市合同でオセアニア地域選手を受け入れる
- ▶ 柳川市祭り振興事業補助金 = 1 万人以上の集客が見込まれる伝統的な祭りの開催を実施する団体に、会場設営費、広告宣伝費などの経費に対して補助金を交付
- ▶ 地域学校協働活動事業費 = 学校・家庭・地域が連携し、学校の支援や放課後などの学習支援を行う地域学校協働事業を推進し、地域の教育の向上につなげる
- ▶ 地域コミュニティ推進費 = 地域コミュニティの推進を図るため、有識者などをコーディネーターに、地域との協議を進め、各地域に適したコミュニティのあり方を検討



市民文化会館建設

ひとつづくり

- ▶ 保育所施設整備事業補助金（柳川幼稚園） = 認定こども園「柳川幼稚園」の施設整備に対して、補助金を交付
- ▶ 在宅等子育て支援交付金 = 18 歳未満の子どもが 3 人以上いる家庭で、3 人目以降の幼児教育無償化前の児童を在宅で養育する場合に毎月 7000 円の第 3 子手当を支給
- ▶ スクールソーシャルワーカー活用事業 = 現在 1 人体制のスクールソーシャルワーカーを、相談内容が複雑化し件数も増加しているため、生徒への適切な対応がとれるように 2 人体制にする
- ▶ 障害児保育事業補助金 = 障がい児の保育のため配置した有資格職員へ補助金を交付
- ▶ 学校施設長寿命化計画策定事業 = 学校施設ごとの概要、劣化状況などのデータをまとめた台帳を作成し、施設評価基準を設定する。その基準で施設を評価し、再編・再配置計画および長寿命化計画を策定
- ▶ 出会い応援事業 = 市内企業・団体のネットワークづくりによる出合いの応援



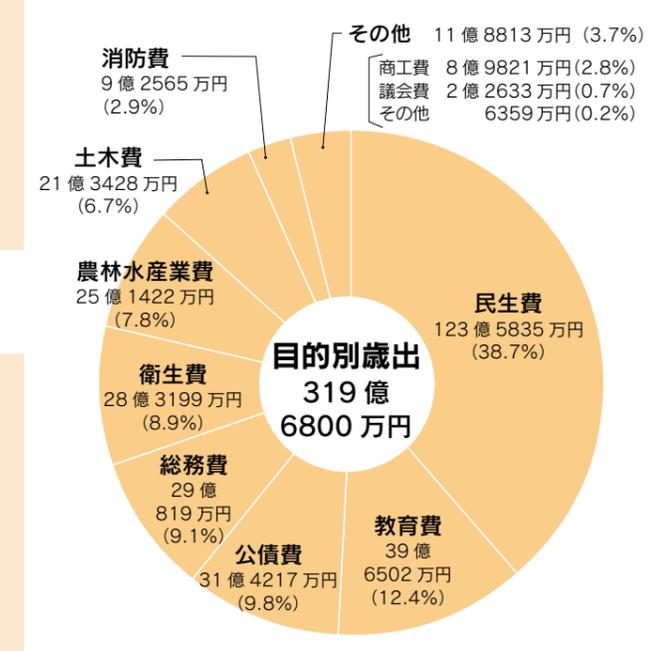
保育所施設整備

まちづくり

- ▶ 柳光園施設整備補助金 = 市から民間へ移譲した養護老人ホーム「柳光園」の建替事業に対して、高齢者福祉の維持を図るため、補助金を交付
- ▶ 一般廃棄物処理施設整備費 = みやま市と共同で建設中の一般廃棄物処理施設整備事業費
- ▶ 柳川市可燃ごみ減量作戦プロジェクト事業 = 電動生ごみ処理機やコンポスト、EM 生ごみ処理容器の補助金を上げることや啓発グッズ、チラシを作成することで可燃ごみの減量化を図る。また、市民のアイデアや意見を聞きながら市民とともにごみ減量を図る
- ▶ 火葬施設整備事業費 = みやま市と共同で建設中の火葬施設整備費
- ▶ 防災行政無線屋外拡声子局増設事業費 = 防災行政無線の音声が届かない地域に対して 5 年をかけて拡声子局を増設
- ▶ 消防自動車購入費 = 東部出張所消防ポンプ自動車と消防団ポンプ車の車両更新



消防団ポンプ車



しごとづくり

- ▶ 新規作物調査研究事業 = 高収益な園芸作物などの振興のため、新規作物の導入および既存品目の拡大などの検討・調査・研究・試験栽培を行う
- ▶ むつごろうランドにぎわい創出事業 = 柳川観光第 2 のエンジン創出事業



むつごろうランドにぎわい創出

の拠点施設として整備を行っている「むつごろうランド」の市内外への周知のために、プレオープンを記念したイベントの実施

- ▶ 福岡市等連携米市場プロモーション事業負担金 = 福岡市が中心となって行う欧米米に対するプロモーション活動事業への負担金
- ▶ 食の学校事業 = むつごろうランド施設を活用し「食の学校」を立ち上げ、柳川の素材を生かした魅力的な食の商品化や人材育成を図る
- ▶ 沖端地区ノリ共同加工施設整備事業補助金 = 沖端漁協が実施する沖端漁業団地ノリ共同加工施設整備に対して補助金を交付